

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.6.13

No. 21



進路室のジレンマ

学校推薦の意味

昨年ある企業に就職を希望した生徒を受験させました。その企業は毎年ある程度のレベルの生徒を送っていましたが、たまたまその生徒以外に希望者がなかったために、内心「人柄はよい子だがこの生徒を送って大丈夫か」と不安に思いつつ願書を送りました。就職試験終了後あんのじょうその企業の人事担当者が来校して「どうしてこのような生徒を送ったのか。これまでの学校と企業との信頼関係はどうなる」とひどくお叱りを受けました。進路担当者としては一人でも多くの生徒がそれぞれ希望するところに進路が決まることを願っています。しかし、一方では自信を持って推薦できそうにない生徒に対しては、企業に対して本当にこの生徒を送って大丈夫かというジレンマを抱えています。

皆さんからすれば希望する会社を受けるのは自分の勝手だと思かもしれませんが、就職試験は学校推薦という形で企業へ書類を送っています。その為に学校と企業との信頼関係を裏切るような生徒を送ることは出来ません。企業と学校との関係は一年限りのものではありません。良い生徒を送れば来年も本校に求人を出してもらえますが、企業に迷惑をかけるような生徒を送れば次年度から採用してもらえなくなり後輩に迷惑をかけることになります。

結果的には誰でもが希望する企業を受けられる分けではありません。勿論卒業までには全員の進路実現を図るよう進路係としては応援しますが、こうした悩み(ジレンマ)を抱えつついる係の思いも十分自覚して欲しいものです。最近では心臓の毛も薄くなり気弱になっている身にはこたえます。

16日求人票ガイダンス実施



求人票受付まで3週間と迫りました。今年の求人がどの程度出るのか大変気がかりですが、企業から出される求人票をどう見たらよいのか、まだ十分に分かっていないと思います。皆さんはややもすると給料の額や、試験科目の内容等を見て会社を決めがちです。しかし実際に注意を払わなくてはいいけない箇所は幾つかあります。一枚の紙を見ただけで会社の全てが分かるわけではありませんが、そこに書かれた内容の一つ一つが大事な情報です。そうした見方について、今週の木曜日 LHR の時間に633教室にて就職希望者を対象としてガイダンスを行う予定です。

就職希望者は必ず参加しましょう。

昔のことにとだわたり、
悔しいと後悔したりしている
うちは、
結局はまだ過去ばかりを見
て
前を向けていないってこと。
起こってしまったことはしょう
がない。
そう思って、常に新しい気持
ちで
前だけを見るように切り替え
られれば、
幸せってやつでくるわよ。
(asahi サイト)「どらく」、堀
ちえみ)